

# CAMPUS 八戸学院

vol.77

地域がキャンパス  
テクノルアイスパーク八戸

八戸学院地域連携研究センター  
大学資産を活用したアートの学び事業

スポーツ局主催  
八戸学院スポーツチャレンジ  
八戸学院スポーツクリニック



## 八戸学院大学人間健康科学部人間健康科学科 小学校教諭二種免許状が取得可能に!

八戸学院大学人間健康科学科(現在の人間健康学科から名称変更)は令和8年4月より、青森県内および近隣地域における小学校教諭の深刻な不足や児童の肥満傾向等、地域特有の健康課題に対応するため、小学校教諭養成課程を設置します。

中学校教諭一種免許状(保健体育)の課程を履修する学生が、同時に小学校教諭養成課程を履修することで、小学校教諭二種免許状の取得が可能になります。

### 小学校教諭二種免許状の取得を目指すには

- 中学校教諭一種免許状(保健体育)の課程を履修
- 各教科の指導法(国語科教育法、算数科教育法等)に関する科目を6単位以上修得

### 人間健康科学科\*で取得できる教員免許状の種類

- 中学校教諭一種免許状(保健体育)
- 高等学校教諭一種免許状(保健)
- 高等学校教諭一種免許状(保健体育)
- 高等学校教諭一種免許状(看護)
- 養護教諭一種免許状
- 小学校教諭二種免許状 **NEW**
- 中学校教諭一種免許状(保健)

※令和8年4月、現在の人間健康学科から名称変更

### 地域共創学科\*で取得できる教員免許状の種類

- 高等学校教諭一種免許状(商業)
  - 高等学校教諭一種免許状(情報)
- ※令和8年4月、現在の地域経営学科から名称変更

## CONTENTS

- 3 八戸学院大学人間健康科学部人間健康科学科  
小学校教諭二種免許状が取得可能に!
- 4 地域がキャンパス  
テクノルアイスパーク八戸
- 6 八戸学院地域連携研究センター  
令和7年度 大学資産を活用したアートの学び事業
- 8 スポーツ局主催  
八戸学院スポーツチャレンジ  
八戸学院スポーツクリニック
- 10 八戸学院TOPICS
- 14 ステラが行く
- 15 ステラ・フォーカス
- 16 プロへの道2025
- 17 「八戸学院大学同窓会40周年記念大会」を開催
- 18 理事長散策



『プログラム駆動症候群  
一心を持ってない若者たち』  
三森 創 新曜社 1998年



若者の行動をプログラム駆動(外部の指示や規範に従って、本人の「心」とは無関係に自動的に行動している状態)という視点から、人間を管理・予測・効率化のための対象として扱う管理社会に異を唱える書。刊行以来30年弱になる今日において、更に主体喪失の状況に疑義を差し挟む余地なく、事態は一層の切実さを帯びているように思われる。もはや、人間は理解されるべき対象でなく、考える前に他者によって「選ばされ」、問いを立てる前に外部から「評価され」る環境を生きていると言わざるを得

ない。本書には様々な具体的な行動が取り上げられ、「プログラム駆動」の構造が明らかになっていく。一方、現象の詳細な描写に力点が置かれているため、我々の心(本書ではもはや我々に「心」はないとの前提に立っていますが)の回復は可能か、有効な社会のあり方の方向性はどのようなものが考えられるかについては不足の感は否めない。その補完として、田中敏「心のプログラム — 心理学の基礎から現代社会の心の喪失まで」(啓文社1994)との併読を薦めたい。両書は、我々にあるはずの「心」を捉え直し、自分自身を起点として人間存在のありようを考える確乎たる足場を与えてくれるに違いない。



種市 朋哉  
八戸学院大学  
学長特別補佐  
地域経営学部 教授

## CAMPUS 八戸学院

vol.77



### 表紙

野辺地西高校の修学旅行で行った清水寺にて撮影したクラス写真です。朝日が昇る中、光に照らされ、笑顔が映える思い出の1枚となりました。

### 建学の精神

#### 「神を敬し、人を愛する」

カトリックの精神に則る道徳教育を施し、高尚なる人格の完成を期し、現代社会が要請する有為の人材を育成することをもって目的とする。(寄附行為 第3条)

- 八戸学院大学  
TEL 0178-25-2711
- 八戸学院大学むつ下北キャンパス  
TEL 0175-33-4190
- 八戸学院大学短期大学部  
TEL 0178-25-4411
- 八戸学院地域連携研究センター  
八戸学院健康・スポーツ科学研究所  
TEL 0178-25-2789
- 八戸学院図書館  
TEL 0178-30-1695
- 八戸学院光星高等学校  
TEL 0178-33-4151
- 八戸学院野辺地西高等学校  
TEL 0175-64-4166
- 八戸学院幼稚園  
TEL 0178-34-5765
- 八戸学院聖アンナ幼稚園  
TEL 0178-45-3670
- 八戸学院第二ののめ幼稚園  
TEL 0178-25-2488

<https://kosei.hachinohe-u.ac.jp/>

# テクノルアイスパーク八戸



新井田公園内にあるテクノルアイスパーク八戸は、最新設備を備えた国際規格(60m×30m)の屋内スケートリンクです。アイスホッケーやフィギュアスケートの大会やイベント、市民の一般滑走にも利用されています。12月から2月まではイルミネーション点灯を行っており、施設周辺が約2000個のライトで彩られ、幻想的な光の空間が広がります。冬の夜を彩る幻想的なスポットとして、家族や友人と楽しめる場所です。



※イルミネーション (テクノルアイスパーク八戸外観)

**大学スケート部アイスホッケー部門  
光星アイスホッケー部**  
八戸学院大学スケート部アイスホッケー部門と光星高校アイスホッケー部の練習場所であり、日々練習に励んでいます。



大学スケート部アイスホッケー部門の練習の様子

## スケート実習・スケート教室

教員免許(保健体育)の取得を目指している大学生の「スケート実習」が行われています。また、野辺地西高校では「スケート教室」で利用するなど、教育の場としても活用されています。



八戸学院大学「スケート実習」



野辺地西高校「スケート教室」

## 卒業生、見つけた!

光星高校を卒業してエスプロモ株式会社就職した小島健太郎さんは、スケートリンクの整備を担当しています。

私がスケートリンクの整備をしている中で心がけていることがあります。それは、利用者の方々に気持ちよく使用してもらえるように、滑りやすい氷を作ることです。氷の温度や硬さを競技によって調整し、利用者から「この氷は最高だ」と思ってもらえるように毎日頑張っています。後輩たちが汗を流して頑張っている姿を見ると、初心を思い出させてくれます。私は、光星高校を卒業し、こうしてやりがいのある仕事を見つけたことができました。後輩たちにもやりがいのある仕事をしていただきたいと思っています。これからもたくさんの方々の利用者の方々へ気持ちよく使用していただけるように頑張りますので、ぜひテクノルアイスパーク八戸へお越しください。

エスプロモ株式会社  
主任  
**小島 健太郎氏**  
光星学院高等学校  
(現八戸学院光星高等学校)  
工業技術科  
平成20年3月卒業



## アート × 幼児教育

子育て世代が美術館に気軽に来館できる機会と、学生の実践的な学びの機会を創出するため、八戸学院まちなかラボを活用した取組みが行われました。

### 短期大学部幼児保育学科 差波ゼミによる 「廃材で作ってあそぼう」

小さな子供とその家族で交流し、遊びからアートの創造に繋がるきっかけになる、ワンパークを開催しました。



### 短期大学部幼児保育学科の学生による 「託児ルーム」

美術館の展覧会の会期中、保育士を目指している学生が運営する託児スペースを開設しました。



### 短期大学部幼児保育学科の学生による 「ベビーファーストデー」

小さな子供とその家族が、気兼ねなく鑑賞できるようサポートしています。



## 令和7年度 大学資産を活用したアートの学び事業

八戸市美術館の特徴である「アートの学び」の具現化に向けて、八戸市美術館の事業の柱の1つである大学との連携により、大学が有する専門性と美術館が有するアートの専門性を融合させ、新たな価値や活動を生み出す「アートの学び」の提供により、人材育成や地域経済の活性化に関する事業を実施しました。

### アートマネジメント事業

芸術・文化活動と社会をつなぐために、業務、もしくは方法論やシステムについて学ぶ講座を開催しました。学生と社会人が一緒に交流し、様々な課題や研究テーマについてディスカッションする場を設け、学生や社会人が美術館での学びを考える講座を開催しました。

#### 「寄せ植え体験」 講師：香月園 橋本正氏



#### 「八戸の生んだ野の天文学者 前原寅吉」(講演) 講師：マエバラ 代表取締役社長 前原俊彦氏



### 高等教育機関のアートセミナー事業

誰もが気軽に訪れることができる美術館を考えることを目的に、美術とは異なる分野の教員を講師とするイベントを開催しました。

#### 「光を通して模様を感じる」 ～スタンドグラス風アート体験～ 講師：八戸学院大学短期大学部 講師 渡邊 雄介



#### 「親子でつくろ！新幹線」 講師：地域連携研究センター センター長・教授 福田 弥夫





## 野球クリニック

八戸学院大学野球場や八戸学院室内練習場を会場に行われた野球クリニックは、大学の指導者や30名を超える学生たちが指導を担当しました。スローイング、バッティング、捕球など、開催日ごとにテーマを決めて指導しました。

## プロ野球選手による野球クリニック



## サッカークリニック

八戸学院人工芝グラウンドで行われたサッカークリニックは、大学の指導者や学生が担当しました。ボディコーディネーション、ドリブル、パス、シュートなど、開催日ごとにテーマを決めて指導しました。



## 陸上競技クリニック

八戸学院室内練習場で行われた陸上競技クリニックは、大学の指導者や学生が専門種目に分かれ、それぞれの種目に特化した基礎練習や冬場のトレーニングなどを指導しました。



## かけっこ教室

八戸学院室内練習場で行われたかけっこ教室では、足の運び方や腕の振り方などの走る際の基本動作について指導しました。大学の陸上競技部が使用している練習器具も使用しながら速く走るコツを学び、最後の鬼ごっこでは、鬼である学生から逃げ回り会場が大いに盛り上がりました。

## ボルダリング教室

八戸学院トレーニングセンターにあるボルダリングウォールを使用して、基礎的な動きを体験できるボルダリング教室です。参加者は全員初めてのボルダリングでしたが、最後には「じゃんけんゲーム」をするなど、上達が見られました。



12月14日(日)の野球クリニックでは、八戸学院大学卒業のプロ野球選手、秋山翔吾選手(広島東洋カープ)、田代将太郎氏(埼玉西武ライオンズアカデミーコーチ)の2名が講師を務めました。

クリニックは、小学生と中学生に分かれて行われ、総勢66名が参加。バッティングや、送球・捕球について指導を受けました。練習の合間には、秋山選手、田代コーチが参加者に話しかける場面もあり、参加者にとって幸せなひと時となりました。

クリニック終了後には、サイン入りカレンダーなどが当たるじゃんけん大会や、サイン会も行われ、終始大いに盛り上がりしました。



**短大** 認知症カフェ「雅(みやび)」[11/20]

介護福祉学科の岩館ゼミは、南部町で開催された認知症カフェ「雅(みやび)」に参加しました。

岩館ゼミは「認知症」の予防と支援に関する地域での取り組みを実地で学び、福祉現場における課題の発見と解決に向けた学びを体系的に深めています。会場となった「社会福祉法人南優会 小規模多機能ホーム蒼地域交流カフェ雅」では、認知症予防体操や職員による余興ダンスも披露され、参加者の笑顔があふれる温かな雰囲気に包まれていました。また、施設の畑で収穫したさつまいもを炭火焼きにしたおやつのお振舞いもあり、学生たちは地域高齢者の方々と同じテーブルを囲みながら和やかに交流を深めました。

学生たちは今回の参加を通して、「認知症カフェ」が地域コミュニティの居心地の良い場所として機能し、独居高齢者の孤立防止にも寄与している実態を体験的に学びました。今回の参加を通して、認知症があっても安心して暮らせる地域づくりに関心を高めていました。



**短大** 八戸市立図書館で冬のおはなし会を開催しました [12/6]

八戸市立図書館主催の冬のおはなし会「一緒に見つけよう！冬のおはなし」が開催され、約30名の親子が参加しました。

冬のおはなし会は本学読み聞かせサークルの学生が担当し、大型絵本・手作り絵本・紙芝居の読み聞かせや、ピアノの演奏に合わせたパネルシアターを披露したほか、ドレミパイプという筒状の楽器で、ジングルベルの曲を子どもたちと一緒に演奏しました。

一番の盛り上がりを見せたのは、ドレミパイプという筒状の楽器を使い子どもたちと演奏をした時です。初めて触るドレミパイプに子どもたちは興味津々で、様々な音を聞き分けて自分の出番になると気持ちよくパイプを振っていました。

参加してくれた子どもたちや保護者の方々からは、「ぜひ、また開催してほしい」というお声もいただき、音楽の楽しさを感じる素敵な時間になりました。



**短大** はっちdeクリスマスコンサートを開催しました [12/20]



ポータルミュージアムはっちで開催された「はっちdeクリスマス」において、幼児保育学科1年生がクリスマスコンサートを企画・運営しました。合唱「世界ではじめのクリスマス」を皮切りに、ダンスやクリスマスにまつわる楽しい手遊び、パネルシアター、大型絵本の読み聞かせなど、子どもたちの年齢や発達段階を意識した多彩な演目を披露しました。また、ハンドチャイムやイングリッシュハンドベルの演奏では、楽器の特徴を生かし、協力して一つの演奏を作り上げる姿が見られました。

学生たちは来場者の反応を受け止め、進行や表現を工夫しながら、保育者として必要な表現力やコミュニケーション力を実践的に高める貴重な学びの機会となりました。

**大学** 看護学科の就職説明会 [11/29]

看護学科の学生約80名を対象に、県内外20施設から担当者をお招きして就職説明会を開催しました。今年度は3年生に加え、新たな取り組みとして2年生も全員参加となり、大規模な就職説明会となりました。

参加した学生たちは、終始和やかなムードのもと、スキルアップ研修制度や独自の奨学金制度などについて熱心にメモを取りながら、担当者の説明に耳を傾けていました。

近年は採用試験の早期化やインターンシップなど、学生の就職活動を取り巻く環境が変化していることから、今後も迅速に対応しながら進路指導を行ってまいります。



**大学** クラブ・サークル活動報告会・懇親会パーティーを開催 [11/29]

学友会主催の「令和7年度 クラブ・サークル活動報告会・懇親会パーティー」が八戸パークホテルで行われ、クラブ・サークル32団体、218名の学生が参加しました。

報告会では、自転車競技部が「今年度の活動目標を『一切手抜きをしない』として、インカレ女子総合3位という結果を残すことができた。来年度は『学生主体のチームづくり』を目標に、インカレ総合優勝を目指したい。」と発表。その他、各団体も1年間の活動内容や成果を報告しました。

報告会後には学友会表彰が行われ、全国大会に出場した8つの団体をはじめ、ボランティア活動などで地域に貢献した団体が表彰されました。

懇親会パーティーでは、仲間や指導者と1年間の活動を振り返りながら親睦を深め、さらなる飛躍を誓いました。終盤には豪華景品が当たる抽選会も行われ、大いに盛り上がりました。



**大学** **短大** 青森県立八戸東高等学校との連携協定 [2/5]

八戸学院大学5号館において、八戸学院大学と八戸学院大学短期大学部は、創立125周年を迎え伝統ある青森県立八戸東高等学校と連携協定を締結しました。

今回締結された協定は、人的・物的資源の相互活用を推進することにより、生徒および学生の資質向上を図ることを目的としています。教育理念や特色を活かし、地域を支える人材の育成を加速させ、今後も地域教育の拠点として次世代を担う若者の志を支え、地域の発展に寄与してまいります。

※県立高等学校との連携協定は、八戸西高等学校、三沢高等学校に続き3校目となります。



**野西高** 修学旅行 [11/29~12/3]

2年次生が4泊5日で関西方面へ修学旅行に行ってきました。行きは新幹線で京都に入り、2日目は京都市内で班別の自主研修を実施しました。旅行前から班ごとに情報を収集し、寺社など様々な名勝を周る詳細な計画を立て、充実した一日を過ごしました。3日目は清水寺の見学後に大阪へ向かい、串カツなど地元の食に触れ、なんばグランド花月では本場のお笑いを体験しました。4日目はユニバーサルスタジオジャパンを丸一日堪能し、仲間との絆を大いに深めることができました。5日目に青森に戻ってきた全員の顔を見て、様々な経験を経て成長することができた濃密な5日間となったと実感しました。



**野西高** 野辺地町ふるさと学習 [12/2]

1年次生を対象に「野辺地町ふるさと学習」を実施しました。午前中は野辺地町立歴史民俗資料館で町の歴史について学んだ後、常夜燈公園や行在所(旧野村家住宅離れ)などを見学し、お昼には商工会女性部の方々にご協力をいただき郷土料理の調理と試食体験を行いました。町外出身の生徒は、初めて食べるカワラケツメイの茶粥や煮和えっこ、精進うなぎなどに舌鼓を打っていました。午後は野辺地八幡宮を訪れ、境内に保管されている貴重な文化財を見学しました。ご協力いただきました歴史民俗資料館や野辺地町歴史を語る会、商工会女性部、野辺地八幡宮の皆様、本当にありがとうございました。

学校がある野辺地町について、今まで以上に深く詳しく知ることができました。野辺地町の郷土料理を実際に作ってみて、古くから伝わる郷土の料理の素晴らしさに気付きました。味もとてもおいしかったです。町の様々なことに目を向けながら、野辺地町で過ごす残り1年間の一日一日を大切にしていこうと思いました。

1組 金谷 奎吾



**野西高** 「総合的な探究の時間」学習成果発表会 [12/9]

3年次生が「総合的な探究の時間」の1年間の成果を全校生徒の前で発表しました。グループごとにそれぞれの興味・関心に基づいてテーマを設定し、様々な方法で研究を深めました。今年、日本全国で問題となった熊による被害を踏まえた生態に関する研究や、青森ねぶたの歴史、電気自動車の環境への影響の考察など、興味深いテーマが並びました。それぞれのグループがプレゼンテーションを行う中で最優秀プレゼンに選ばれたのは、睡眠の質について研究したグループでした。睡眠について詳細な調査をするだけでなく、「スポーツのパフォーマンス向上につなげ、より良いパフォーマンスを発揮するには」という視点からテーマを深めることができました。



**光星高** HGK AWARD 2025を開催しました [12/22]

3年間の「総合的な探究の時間」の成果を発表する「HGK (エイチ ジー ケイ) AWARD (アワード) 2025」を開催しました。

昨年度は普通科だけの開催でしたが、今年度からは保育福祉科も含め全学科を対象として開催しました。

発表会では、3年次各科・コースから選ばれた7組の生徒が、それぞれで設定したテーマについて探究活動を行い、その成果を1・2年次生に向けて発表しました。また、2名の助言者を外部からお招きし、貴重なご助言をいただきました。

発表後に行った1・2年次生の振り返りアンケートでは、「スライドの使い方や発表の仕方などを学べた」「自分も知りたいことを調べて深めてみたいと思った」「来年は自分たちも、今日の発表を参考にして完璧なプレゼンを作りたい。」などの記述があり、今後の探究活動の参考となる大変有意義な発表会となりました。



**光星高** 県民対話集会「#あおばな」 in 八戸学院光星高校 [12/23]

ダークスーツに白いシャツ姿でノーネクタイの宮下知事が、全校生徒の大きな拍手に迎えられ体育館に入場されました。

中村校長による歓迎のあいさつと、佐藤生徒会長による学校紹介の後、宮下知事によるあいさつがありました。

宮下知事の進行で始まった本校代表生徒との意見交換では、代表生徒5名が事前に準備した内容をもとに、自分の考えや思いを発表しました。それぞれの意見に対し、宮下知事からは即座に回答や助言があり、会場からは拍手が送られるなど、活発で有意義な意見交換が行われました。

また、宮下知事からは「それぞれが夢をもって頑張してほしいと思う。みんなが夢を実現するその先に青森県がある、この青森県でチャレンジができる、という環境をつくるのが私の仕事」というメッセージもいただきました。

お忙しい中、本校まで足を運んでいただき、生徒一人ひとりと同じ高さの目線で向き合ってくださいましたことに心より感謝申し上げます。知事の情熱と姿勢を間近で感じることができ、生徒はこれからの青森県や自身の将来について考える貴重な機会となりました。



**光星高** 第98回選抜高等学校野球大会出場決定

1月30日に第98回選抜高等学校野球大会出場が決まりました。2年振り12回目の出場が決まり、硬式野球部、関係者、光星高校は歓喜に包まれ大いに沸きました。

昨秋の東北大会では、花巻東高校にあと一歩というところで惜敗となりましたが、結果以上に力の差は歴然としていたことから、冬場にやるべきことが明確となり、選手達は一生懸命鍛錬を積んできました。選抜大会ではその成果を発揮できるよう精進して参ります。

応援して下さる全ての方々へ感謝の意を表して、元氣よくハツラツとしたプレーをお見せしたいと考えております。



## 八戸学院幼稚園

### 初めての劇発表



今年度は幼稚園の一大行事であるクリスマス発表会で、1歳児つくし組と2歳児つぼみ組が初めて劇を発表しました。前年の

入園説明会で年少クラスが「おおきなかぶ」の劇ごっこを披露したのがとても素敵だったので、ぜひ取り入れてほしいと願っての実現でした。

つくし組が演じたのは「カレーライスのおた」。見せ場は食材に扮した子どもたちが、一人ずつお鍋に向かって

ジャンプするシーンです。みんな元気に日頃の運動遊びの成果を見せてくれました。つぼみ組は「はらぺこあおむし」。可愛いあおむしさんたちが「それでもおなかはぺっこぺこ」の後で、可憐な蝶に変身して羽ばたくシーンは、年長児の星の子シアターを思わせる鮮やかさでした。

初めてのチャレンジで不安もありましたが、客席の保護者からは「来年の劇も楽しみだね」の声が聞かれ、心温まるひとときとなりました。



## ステラ・フォーカス



近年は、少人数幼稚園として、「安心感」と「一人ひとりを大切に」という信念を保ち続けてまいりました。小規模ならではのきめ細やかな教育を提供できる環境であることを自負し、運営してきました。保護者の皆様のご理解とご協力のおかげで、今年度もたくさんの方の行事を無事に終えることができました。

八戸学院第二しののめ幼稚園は1979年4月、光星学院八戸短期大学（現在の八戸学院大学短期大学部）付属幼稚園として開園しました。その後、何度か改名されたのち、2017年4月に現在の名称になり、第二しののめ幼稚園は47年目を迎えます。



八戸学院3幼稚園  
マスコットキャラ  
ステラが行く  
vol.28

## 八戸学院第二しののめ幼稚園

### 『保護者と過ごす幼稚園の時間』 幼稚園行事での「コマ」コマ

印象深い場面がたくさんありました。親子スポーツフェスティバルでは、親子で一緒にダンスをし、三世代参観日には空き箱で工作をしました。また別の日には、ハンバーグを親子で一緒に作り、またある時には、ピザづくりを体験することができました。ピザのキッチンカーは、すすく会の保護者で呼んでくださり、イタリアの本場の味を楽しむことができました。保護者の皆様、ご家族の皆様、お祖父様お祖母様のおかげで、本当にたくさんの方の思い出を作ることができました。いつも、子どもをまんなかにして、幼稚園と保護者が協力しながら、子どもたちが成長する喜びを分かち合う環境があつたように思います。

今後も幼稚園において、保護者の皆様とともに、子どもたちの幸せを高めるための環境づくりをしてまいりたいと思います。

春から見ると、どの子も身長が伸び、からだも一回り大きくなり、好奇心も旺盛になってきました。年長組の子どもたちは3月に卒園しますが、卒園後もそれぞれの場所で自分らしく輝いてほしいと願っています。年中児と年少児は、一つ



上のクラスになりますが、自己肯定感を高めて自分を好きになることを支えながら、見守り続けていきたいと思っています。毎日の園生活の中で、子どもたちが様々な経験を通して成長していく姿を見ることはとてもうれしく、いつまでも笑顔いっぱいの幼稚園であり続けたいと思っています。



## 八戸学院聖アンナ幼稚園

### 『いか・の・お・す・し』って？

3学期の避難訓練は、不審者が来た時の対応について訓練をしました。

秘密の合言葉が各部屋に伝達されると、子どもたちは誰一人おしゃべりすることなく、小さくなって隠れることができました。



訓練が終わった後は、八戸警察署と類家交番の方々には「いかのおすし」のお話をいただきました。『いか』ない、『の』らない、『お』おきな

こえでさげ、『す』ぐにげる、『し』らせるの5つの合言葉をみんなで覚え、「たすけて〜!」と大きな声を出す練習も！そして、警察官が普段身に付けている警棒や手錠、警察手帳などを実際に見せてもらった子どもたちは、興味津々目を輝かせて魅入っていました。



不審者などが来ないことを祈りつつ、非常時には大人も子どもも慌てず対応できるよう、これからも訓練に取り組んでいきます。

## 八戸学院第二しののめ幼稚園

### 餅つき会～世代・国混合交流会～



1月20日(火)、PTAすすく会や八戸学院大学短期大学部と合同による、餅つき会が行われました。

餅のつき方を教わった後は実践です。力いっぱい杵を持ち上げ、臼の中へ振り下ろします。その動作を繰り返しながら、子どもたちは餅つきを頑張りました。近年は餅つきをする家庭が少なくなり、「親子で貴重な

体験ができた」と喜びの声が聞こえました。また、初めての学生も多く、杵の重さや餅を返す大変さを体験し、驚きや楽しむ声が響き渡りました。そして、今年も楽しく会話を弾ませながら「餅花」を作り、玄関に飾りました。

できあがったお餅は、みんなでお汁粉やきなこを付けておいしくいただきながら、世代間や留学生たちと交流を深めました。



## 「八戸学院大学同窓会 40周年記念大会」を開催



秋山選手(右)による記念講演の様子



同窓会会長から学友会へ目録の贈呈

令和7年12月13日(土)、八戸プラザホテルにて「八戸学院大学同窓会40周年記念大会」が盛大に開催されました。旧交を温める同窓会大会は5年に一度開催されており、約150名の参加者が創立40周年という大きな節目を祝いました。

第一部では、本学卒業生で広島東洋カープ所属の秋山翔吾選手を招聘。「八戸から世界へ」と題し、夢を追う力や絆の重要性について熱くご講演いただきました。講演後のじゃんけん大会では、秋山選手のサイン入りユニホームが参加していた小学生へ贈られるなど、会場は大いに盛り上がりました。

第二部の交流会では、多くの同窓生が集い親睦を深めました。また、同窓会40周年記念事業として、学生組織である学友会にスポーツエアコン6台を贈呈。現役学生への活動支援も行われ、さらなる母校の発展を願いながら、世代を超えた絆を再確認できた実り多き一日となりました。

# プロへの道 2025

プロへの道を目指して八戸学院大学へ入学をし、夢をかなえた選手たちを紹介

## 【人間健康学科4年】栗澤 陸

J2リーグ ヴァンラーレ八戸FC

これまで育ててくれた家族や、支えてくださった全ての方々への感謝の気持ちを忘れずに、目に見える結果で恩返しができるよう、全身全霊で頑張ります。目標は10ゴール、10アシスト。持ち味のドリブルで見る人を沸かせることができる選手になりたいです。応援よろしくお願いいたします。



## 【人間健康学科4年】木村 大輝

J3リーグ FC大阪

幼い頃からの夢であったプロサッカー選手としてのキャリアをFC大阪という素晴らしいクラブでスタートでき、大変嬉しく思います。試合の状況を把握し、自陣からのボール奪取だけでなく、チャンスの起点となる選手を目指し、1つでも多く試合に出場してJ2昇格に貢献したいと思います。応援よろしくお願いいたします。

## 【地域経営学科4年】長谷川 優羽

女子バスケットボールリーグ 新潟アルビレックスBBラビッツ

地元・新潟でプレーできることに、心から感謝しています。たくさんの方の支えがあって、今の私があります。その感謝を忘れず、一日一日を大切に過ごし、成長し続けていきたいです。「この選手みたいになりたい!」と目標にもらえる選手になることを目指し、支えてくださった方々に自分のプレーで恩返しできるように、全力で日々挑戦していきます。



## 【人間健康学科4年】佐武 ほのか

女子サッカーなでしこ1部リーグ ASハリマアルビオン

これまでの競技人生を振り返ると、大きな壁に何度もぶつかってきました。それでもここまで続けてこれたのは、家族をはじめ、指導者や仲間が存在があったからです。大学では技術面だけでなく、人としての在り方や物事への向き合い方を学び、人間的にも成長することができたと感じています。これまでに得た経験や学びは、自分にとって大きな財産です。感謝の気持ちを忘れず、次のステージでも自分らしく挑戦し続けていきたいです。





HACHINOHE GAKUIN CAMPUS SPOT

# 八戸学院幼稚園 特大雪山すべり台



子どもたちが待ちに待った特大の雪山すべり台が今年も登場しました。この雪山すべり台は八戸学院光星高校男子サッカー部の皆さんがトレーニングを兼ねて雪かきをしながら作り、その後幼稚園の先生たちがすべり台にしたものです。  
子どもたちはソリ滑りや雪の階段を昇り降りしたりと大はしゃぎ。どの学年も大喜びで楽しんでいきます。

## 八戸学院幼稚園

